

静岡大学（グローバル共創科学部 青木憲治）【静岡県静岡市駿河区大谷 836】

新着情報等	
<p>令和2年度富士市 CNF プラットフォーム実用化研究事業にて東洋レチン(株)様と実施したポリプロピレン系 3D プリンターフィラメントの開発に成功しました。この内容は 3/30NHK「おはよう東海」で「富士市の CNF 実用化への取組」として紹介され、反響をいただいております。</p>	 <p style="font-size: small;">造形物の様子 左：開発組成 右：CNF無添加組成</p>

事業内容
PP 用 CNF マスターバッチの開発、CNF/樹脂（エラストマー、熱硬化等）複合化手法の確立

CNF に関する活動（複数選択可）
<input type="checkbox"/> CNF の製造 <input checked="" type="checkbox"/> CNF の利活用 <input type="checkbox"/> 製造機械・装置 <input type="checkbox"/> 分析関係 <input type="checkbox"/> 金融・サービス <input type="checkbox"/> 商社 <input checked="" type="checkbox"/> 大学・研究機関 <input type="checkbox"/> 産業支援機関 <input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> その他（ ）

自社PRコメント（CNFに関する技術や取組等）

CNF の製造技術は農学領域で生まれた技術であるが、CNF を樹脂に分散し、複合化するというステージは工学領域の腕の見せどころである。当講座では樹脂複合材料で必須添加剤である「相溶化剤」の調製技術を背景とした研究開発を行っている。

現在、CNF/PP 系複合材料向けに「静岡レシピ」と命名した独自プロセスによる第一弾マスターバッチ（「Cellmapp」と命名）のサンプルワークを開始した。

今後、混練・成形加工分野、高分子分野等様々な分野の方々と協働し、「餅は餅屋」としてスピード感を持った開発を行っていくことが重要であると思っている。各方面で御評価いただけることで技術は磨かれ、進歩すると思いつつ、異分野間や産学官での「相溶化剤」的な役割を担えればと切に思っている。

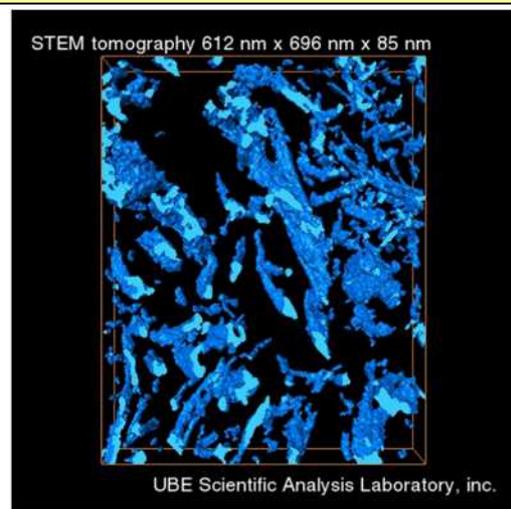


写真 「Cellmapp」を用いて作製した CNF/PP(=3:97)複合材料のSTEM tomography 画像 (612nm×696nm×85nm)
UBE科学分析センター様から御提供

連携を希望する分野・業種等

- ・CNF 製造メーカー：「静岡レシピ」による CNF/相溶化剤複合粉体化の受託およびライセンス供与
- ・成形メーカー：CNF/PP 複合材料向けマスターバッチの提供（研究成果有体物として有償提供）

問合わせ・担当

所属等	静岡大学 グローバル共創科学部 生命圏循環共生学コース		
担当者名	准教授 青木憲治		
電話番号	054-238-5437	ファクス番号	054-238-5437
Eメールアドレス	aoki.kenji@shizuoka.ac.jp		
ホームページ URL	-		